



専門学生が東部方面衛生隊を研修



東京地本新小岩募集案内所（所長 山本 2 陸尉）は 2 月 6 日（水）、朝霞駐屯地において、東部方面衛生隊の支援を受けて江戸川区に所在する東京医薬専門学校救急救命士科 1 学年の学生及び教諭 34 名を対象に部隊研修を実施した。

本研修は、東京医薬専門学校からの依頼を受け、自衛隊に対する理解を促進し、防衛意識の高揚を図ることを目的として初めて実現したものである。

当初、東部方面衛生隊において概要説明を受けた後、救急車の搭載器材の展示説明、人体模型を活用した救急救命士への教育要領、体験喫食、最後に陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）を見学した。

東部方面衛生隊では、救急車内での傷病者に対する処置要領、リアルな人体模型を使用した心肺停止時における蘇生術及び大量出血時の処置等の応急救護訓練の説明を受け、学生はその都度、救急救命士の視点で積極的に質問していた。

また、陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）では、普段触れることができない 90 式戦車等各種装備品の見学、迷彩服を着用してのフライトシミュレーター体験及び偵察用オートバイでの記念撮影等に参加者は目を輝かせていた。

研修者からは、「貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。」「将来の職業選択の参考にしたい」「自衛隊の衛生部隊の概要を理解できた」「将来の職業選択の参考にしたい」等の意見が聞かれた。

東京地本新小岩募集案内所では、今後も担当地域における学校開拓を重視するとともに、地域に密着した募集・広報活動を実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。

中央特殊武器防護隊部隊において部隊見学を実施



東京地本台東出張所は、2 月 9 日（土）、陸上自衛隊大宮駐屯地において、今後採用試験の受験を検討している対象者及びその家族 19 名を対象に、陸上自衛隊最大の化学科部隊である中央特殊武器防護隊の研修を行った。

当初、中央特殊武器防護隊の概要説明を受けた後、装具、車両等装備品の展示及び史料館を研修した。参加者は、自衛官の仕事内容や入隊した後の生活等について隊員によるわかり易い説明により、自衛隊についての認識が深まった様子であった。また、隊員との意見交換会においては、「仕事が終わった後はどんな事をしているのか」や「体力的に不安なので心配」、「一番辛かったことは何か」など様々な質問や意見が交わされ、現職隊員の体験談を含めた丁寧な回答を興味深く聞き入っており、対象者及びその家族に対し、自衛官という職業の魅力を伝えるとともに、不安の払拭が図れた部隊見学であった。

台東出張所はこれからも各種イベントを実施し、採用受験を考えている希望者に自衛隊への一層の理解を深めて貰えるよう、募集広報活動に邁進していくとしている。